

① 次の説明にあてはまる敬語の種類を、あとのア～ウから選んで記号で書きましよう。

- (1) 話している相手や話題になっっている人を敬う気持ちを表すとき
に使う言葉。 ()
- (2) あまり親しくない人や大勢の人に対して、ていねいに話した
り書いたりするときを使う言葉。 ()
- (3) 自分や自分に関係する人の動作をけんそんなして言うことで、
その動作を受ける人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 ()

ア ていねい語 イ 尊敬語 ウ けんじよう語

② 次の文の——線で使われている敬語の種類を、あとのア～ウから選んで記号で書きましよう。同じ記号を二回書いてもかまいません。

- (1) お客様からお菓子をいただく。 ()
- (2) 校長先生がいすにお座りになる。 ()
- (3) 朝食にはパンを食べます。 ()
- (4) 先生が「本を読みなさい」とおっしゃる。 ()
- (5) お客様に学校をご案内することになった。 ()

ア ていねい語 イ 尊敬語 ウ けんじよう語





敬語 2

丁寧語が正しく使える

月 日
名 前

1 次の文の中から正しい語を使っているものをすべて選び、() に○をか
きましよう。

(1) 正面に見えるのが京都駅です。

.....

()

(2) 明日はサッカーの試合がある。

.....

()

(3) 午後から雨が降るらしい。

.....

()

(4) おやつにシュークリームを食べました。

.....

()

2 次の文を、——線の言葉を正しい語にして書き直しましょう。

(1) 好きな食べ物はカレーライスだ。

(2) 祖父に手紙を書く。

(3) 友達と午前十時に待ち合わせしている。

(4) 富士山は日本でいちばん高い山だ。



尊敬語が正しく使える

月 日
名 前

1 次の文の——線の言葉を尊敬語に直します。あてはまる言葉から選んで書きましよう。

(1) 校長先生が教室に来るそうだ。

(2) 先生が花の手入れをするのを手伝った。

(3) お客様が飲むお茶を用意した。

なせる いらっしゃる めしあがる

2 次の文の——線の言葉を、「お(ご)——になる」という言い方に書き直しましよう。

例 校長先生が本を読む。

お読みになる

(1) 先生が母と話す。

(2) お客様が部屋に入る。

(3) 大臣は会議に出席する予定だ。

(4) 市長が、明日学校を訪問する。



謙譲語が正しく使える

月 日
名 前

1 次の文の——線の言葉をけんじょう語に直します。あてはまる言葉を□か

ら選んで書きましよう。

(1) 姉が市長から賞状をもらう。

(2) 先生の作品を見ることになった。

(3) お客様に「こんにちは」と言う。

申しあげる いただく 拝見する

2 次の文の——線の言葉を、「お(づ)——する」という言い方に書き直しましよ

例 校長先生の話聞く。

お聞きする

(1) お客様を駅まで見送る。

(2) 大臣に現状を説明する。

(3) 先生に話し合いの結果を報告する。

(4) 午後一時に公園の前で待つ。



■ 次の文の——線の敬語の使い方が正しいほうに○をかきましよう。

(1) 父は来週の月曜日に学校にいらっしゃると申していました。

父は来週の月曜日に学校にうかがうと申していました。

(2) お客様が、私たちのクラスの劇をご覧になることになった。

お客様が、私たちのクラスの劇を拝見することになった。

(3) 先生に「今度、私の家にいらっしゃってください」とお願いした。

先生に「今度、私の家にいらっしゃってください」とお願いになった。

(4) 市長も町内会の祭りにご参加するそうです。

市長も町内会の祭りにご参加になるそうです。

(5) 学芸会のはじめに、校長先生がお話しになる。

学芸会のはじめに、校長先生がお話しになられる。

(6) 先生が「大事なことだから覚えておきなさい」とおっしゃられる。

先生が「大事なことだから覚えておきなさい」と言われる。

